

どうする 震災 がれき

県と伊賀市に

1769 人分の署名

「反対2団体追加提出

東日本大震災で生じたがれきの焼却灰の処理を、県が伊賀市の廃棄物処理会社に要請していることに関して、同市の市民団体「笑顔

でつながろう！伊賀の会」（黒木美智子代表）と、名張市の市民団体「名張の未来を考える会」（卯津江加奈代表）が28日、伊賀地域での処理に反対する1769人分の署名を、県と伊賀市に提出した。

伊賀市長選で、受け入れ反対を掲げた岡本栄市長が当選したことをうけ、県に対して「伊賀市長は『受け入れない』と繰り返ししている。伊賀市が受け入れないということは、県内での処理は不可能」などとして、受け入れないよう求めている。

集めた署名を順次提出していて、今回の分を合わせて計8841人分となった。両団体は「放射能汚染は拡散しないのが原則」などとして7月下旬から署名を呼びかけていた。